



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月2日

上場取引所 東

上場会社名 アルコニックス株式会社

コード番号 3036 URL <http://www.alconix.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 正木 英逸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経本部長 (氏名) 宮崎 泰

TEL 03-3596-7400

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日

配当支払開始予定日

平成24年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	88,529	△19.8	1,721	△45.5	2,015	△42.3	1,015	△48.3
24年3月期第2四半期	110,426	46.9	3,158	110.5	3,492	127.9	1,964	123.0

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 938百万円 (△46.3%) 24年3月期第2四半期 1,746百万円 (172.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	159.78	159.14
24年3月期第2四半期	309.25	307.08

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	64,500	14,711	22.2
24年3月期	68,600	14,020	19.8

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 14,295百万円 24年3月期 13,617百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	25.00	—	35.00	60.00
25年3月期	—	30.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	166,000	△24.8	2,800	△40.3	3,000	△33.3	1,600	△34.7	251.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、[添付資料]4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	6,353,200 株	24年3月期	6,353,200 株
25年3月期2Q	114 株	24年3月期	87 株
25年3月期2Q	6,353,107 株	24年3月期2Q	6,351,022 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]の4ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11
(6) セグメント情報等 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧州の景気後退を背景に、米国経済は緩やかな回復にとどまり、中国をはじめとする新興国の景気は国内需要及び輸出の減少等により減速いたしました。

このような状況下で、わが国経済においては、期初は復興需要に牽引される形で低水準の回復傾向で始まりましたが、第2四半期には生産、輸出の減少により、景気は後退局面となりました。

当社グループを取巻く非鉄金属業界は、自動車産業向け需要がエコカー補助金の効果で比較的堅調でしたが、家電、IT産業向け需要は低迷する中で在庫調整局面が続きました。

このような経済環境のもと、当社グループの売上面においては、自動車用非鉄金属素材、欧州向け化学プラント及び船舶用途のチタン・ニッケル製品、及びスマートフォン・タブレット端末向け電子材料等の取扱いが増加いたしました。一方で家電、IT産業向け需要の減少により銅管、銅条等の伸銅品、及びアルミ製品の取扱いが減少いたしました。また、前連結会計年度業績に大きく貢献したレアメタル・レアアースにおいては市況下落と、取引先の在庫調整等の要因から、取扱いが前年同期比で大きく落ち込みました。また、利益面においてはレアメタル・レアアース等取扱いの減少、及び国内連結子会社の収益減により大幅な減益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における連結経営成績は、売上高88,529百万円（前年同期比19.8%減）、営業利益1,721百万円（同45.5%減）、経常利益2,015百万円（同42.3%減）、四半期純利益1,015百万円（同48.3%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は次のとおりであります。

#### ・軽金属・銅製品事業

国内の家電、IT産業の不振に加え、長引く円高、欧州の景気後退、中国その他新興国の景気減速等マイナス要因が重なり、軽圧品、伸銅品の取扱いは伸び悩みました。一方、建築需要の底離れにより同分野向け伸銅品の国内販売は回復基調となりましたが、アルミ製品の通信、及び半導体・液晶製造装置関連や、大型自動二輪分野向けは引続き需要が低迷いたしました。

この結果、当セグメントにおける売上高は31,962百万円（前年同期比8.2%減）、セグメント利益は448百万円（同22.3%減）となりました。

#### ・電子・機能材事業

電子材料分野では、スマートフォン、タブレット端末関連材料の取扱いが堅調に推移し、また、欧州向け化学プラント及び船舶用途のチタン・ニッケル製品の輸出取引は、欧州経済低迷や円高の影響等により新規引合いは低調であるものの前年同期に比べ増加いたしました。一方、中国向け電力プラント用途のチタン製品輸出取引は、プロジェクトの安全性、経済性の見直し等の要因から、低迷状態が続きました。

一方、レアメタル・レアアースの分野では、自動車関連需要が比較的堅調に推移したものの、世界的な景気減速を受けて、家電、IT産業向けの需要が大きく落ち込みました。特に前連結会計年度業績に大きく貢献したレアアースの取扱いにおいては、市況が大幅に下落した上、国内主要取引先において在庫調整が続いたことにより、売上、利益ともに前年同期に比べ大きく減少いたしました。

この結果、当セグメントにおける売上高は41,529百万円（同30.0%減）、セグメント利益は1,416百万円（同49.5%減）となりました。

#### ・非鉄原料事業

非鉄原料の主要需要家である自動車産業が、エコカー補助金政策の恩恵を受け、生産量を増加させたことから、アルミ輸入再生地金等の販売が堅調に推移いたしました。市況はアルミ、銅が各々前年同期より大きく下落したため売上高は減少しましたが、銅屑、鉄鋼用脱酸材料、軽金属圧延用のマグネシウム地金等の取扱いも、前年同期比で増加いたしました。しかしながら化学用品用金属珪素は、需要家の最終製品の販売低迷に伴う在庫調整が期を通じ継続されたことで取扱いが減少いたしました。

この結果、当セグメントにおける売上高は12,419百万円（同4.4%減）、セグメント利益は62百万円（同1.2%減）となりました。

#### ・建設・産業資材事業

当第2四半期連結累計期間は、大震災直後の仮需の反動減に加え、円高継続による輸出産業の不振、復興・復旧需要の遅れ、新設住宅着工戸数の伸び悩み、及び民間設備投資の低迷等により、建設産業資材・配管機材類の需要は停滞いたしました。またアジア、中東諸国向け配管機材、及び銅合金素材の海外取引においても全体として低調に推移いたしました。利益面では、赤字であった中国ダイカスト事業の合弁事業化による再構築が増益に寄与いたしました。

この結果、当セグメントにおける売上高は5,996百万円（同16.2%減）、セグメント利益は77百万円（同32.9%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### ①財政状態

#### a. 流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は57,236百万円であり、前連結会計年度末比5,203百万円の減少となりました。主な内訳は現金及び預金の減少1,237百万円、たな卸資産の減少3,638百万円、及び取引の減少による受取手形及び売掛金の減少178百万円であります。

#### b. 固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は7,263百万円であり、前連結会計年度末比1,102百万円の増加となりました。主な内訳は国内連結子会社における設備投資に伴う有形固定資産の増加78百万円、及び持分法適用関連会社株式の取得等に伴う投資その他の資産の増加1,107百万円であります。

#### c. 流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は44,707百万円であり、前連結会計年度末比3,790百万円の減少となりました。主な内訳は取引の減少に伴う支払手形及び買掛金の減少3,970百万円、未払法人税等の減少740百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少427百万円、及び短期借入金の増加1,897百万円であります。

#### d. 固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は5,081百万円であり、前連結会計年度末比1,000百万円の減少となりました。主な内訳は流動負債への振替に伴う長期借入金の減少852百万円、及び社債償還に伴う社債の減少200百万円であります。

#### e. 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は14,711百万円であり、前連結会計年度末比690百万円の増加となりました。主な内訳は利益剰余金の増加792百万円、その他有価証券の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の減少141百万円であります。

### ②経営成績

#### a. 売上高

主な売上高の増加要因は、自動車用非鉄金属素材、欧州向け化学プラント及び船舶用途のチタン、ニッケル製品の輸出取引、及びスマートフォン・タブレット端末等の需要増に伴う電池用包材、銅スクラップの取扱いの増加であります。一方、主な減少要因は、二次電池材料向けニッケル粉末、半導体用伸銅品、化学用品用途の金属珪素、及びバルブ・配管材料用途の黄銅棒の輸出取引であります。特に前年度業績に大きく貢献したレアメタル・レアアースにおいては市況の下落、及び取引先における在庫調整の影響が響き、取引が大きく減少したことから、当第2四半期連結累計期間における売上高は、前年同期比19.8%減の88,529百万円となりました。

#### b. 売上総利益

レアメタル・レアアースの取扱量減少、及び通信機器関連や半導体向け需要の落ち込みが影響したことから国内連結子会社の収益が減少したことにより、当第2四半期連結累計期間における売上総利益は前年同期比24.0%減の4,518百万円となりました。

#### c. 販売費及び一般管理費

オフィス移転等の一時的な費用増加に伴い、当第2四半期連結累計期間における販売費及び一般管理費は前年同期比0.5%増の2,797百万円となりました。

#### d. 営業利益

上記の結果、当第2四半期連結累計期間における営業利益は前年同期比45.5%減の1,721百万円となりました。

#### e. 営業外収益、営業外費用

外貨建決済取引に係る為替差益の減少があったものの、当第2四半期連結累計期間に株式取得した中国の持分法適用関連会社の収益見合い部分を持分法による投資利益として計上したことが寄与し、営業外収支（営業外収益－営業外費用）は294百万円の収入となりました（前年同期は334百万円の収入）。

#### f. 経常利益

上記の結果、当第2四半期連結累計期間における経常利益は前年同期比42.3%減の2,015百万円となりました。

#### g. 特別利益、特別損失

少額の新株予約権戻入益を特別利益として計上する一方、保有上場株式の時価下落に伴う減損処理による投資有価証券評価損270百万円、及びその他有価証券の売却に伴う投資有価証券売却損11百万円等を特別損失に計上いたしました。

#### h. 四半期純利益

税金等調整前四半期純利益1,728百万円から法人税等676百万円、国内及び海外連結子会社3社における少数株主利益37百万円を差引き、当第2四半期連結累計期間における四半期純利益は前年同期比48.3%減の1,015百万円となりました。

#### ③キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は9,297百万円（前年同四半期連結累計期間は10,044百万円）となり、前連結会計年度に比べ1,204百万円減少いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と主な変動要因は次のとおりであります。

##### a. 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、9百万円の増加（前年同四半期は2,800百万円の増加）となりました。主な増加要因は税金等調整前四半期純利益1,728百万円、たな卸資産の減少額3,648百万円、売上債権の減少額135百万円であります。一方、主な減少要因は取引の減少に伴う仕入債務の減少額3,906百万円、前受金の減少額239百万円、及び法人税等の支払額1,335百万円であります。

##### b. 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,583百万円の減少（前年同四半期は349百万円の減少）となりました。主な減少要因は子会社における設備投資に伴う有形固定資産取得による支出166百万円、及び持分法適用関連会社の株式取得による投資有価証券取得による支出1,488百万円であります。

##### c. 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、384百万円の増加（前年同四半期は620百万円の減少）となりました。主な増加要因は短期借入金の純増加額2,109百万円、長期借入金の借入による収入200百万円であります。一方、主な減少要因は長期借入金の返済による支出1,480百万円、社債の償還による支出200百万円、及び配当金の支払額220百万円であります。

#### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点においては、平成24年10月23日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想を変更しておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### ・税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### ・会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益及びセグメント情報への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,607	9,370
受取手形及び売掛金	31,778	31,600
商品及び製品	18,617	14,968
仕掛品	57	69
原材料及び貯蔵品	19	18
その他	1,616	1,501
貸倒引当金	△256	△291
流動資産合計	62,440	57,236
固定資産		
有形固定資産	3,224	3,303
無形固定資産		
のれん	14	8
その他	287	249
無形固定資産合計	301	257
投資その他の資産	2,634	3,702
固定資産合計	6,160	7,263
資産合計	68,600	64,500
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,896	22,925
短期借入金	15,132	17,030
1年内返済予定の長期借入金	2,412	1,984
1年内償還予定の社債	400	400
未払法人税等	1,352	611
賞与引当金	596	604
その他	1,707	1,150
流動負債合計	48,498	44,707
固定負債		
社債	1,400	1,200
長期借入金	3,803	2,951
退職給付引当金	238	256
役員退職慰労引当金	124	143
長期未払金	60	82
その他	455	446
固定負債合計	6,082	5,081
負債合計	54,580	49,789

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,830	2,830
資本剰余金	1,872	1,872
利益剰余金	9,208	10,001
自己株式	△0	△0
株主資本合計	13,912	14,704
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△41	△183
繰延ヘッジ損益	△41	△36
為替換算調整勘定	△211	△189
その他の包括利益累計額合計	△294	△408
新株予約権	43	42
少数株主持分	359	372
純資産合計	14,020	14,711
負債純資産合計	68,600	64,500



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	110,426	88,529
売上原価	104,483	84,011
売上総利益	5,942	4,518
販売費及び一般管理費	2,784	2,797
営業利益	3,158	1,721
営業外収益		
受取利息	3	4
仕入割引	12	11
受取配当金	27	19
為替差益	455	288
持分法による投資利益	—	99
不動産賃貸収入	24	23
その他	38	36
営業外収益合計	562	483
営業外費用		
支払利息	145	121
売上割引	15	5
手形売却損	25	28
不動産賃貸原価	6	6
その他	36	26
営業外費用合計	228	188
経常利益	3,492	2,015
特別利益		
新株予約権戻入益	0	0
その他	0	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
投資有価証券評価損	—	270
本社移転費用	26	—
持分変動損失	8	—
その他	1	16
特別損失合計	36	287
税金等調整前四半期純利益	3,457	1,728
法人税等	1,412	676
少数株主損益調整前四半期純利益	2,044	1,052
少数株主利益	80	37
四半期純利益	1,964	1,015

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,044	1,052
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△134	△142
繰延ヘッジ損益	△176	4
為替換算調整勘定	12	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	—	23
その他の包括利益合計	△297	△114
四半期包括利益	1,746	938
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,670	900
少数株主に係る四半期包括利益	75	37

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,457	1,728
減価償却費	166	193
のれん償却額	6	6
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	76	39
賞与引当金の増減額 (△は減少)	125	8
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	6	18
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	13	19
受取利息及び受取配当金	△31	△23
支払利息	145	121
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	270
持分法による投資損益 (△は益)	—	△99
持分変動損益 (△は益)	8	—
本社移転費用	26	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,525	135
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,473	3,648
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,101	△3,906
未収消費税等の増減額 (△は増加)	455	△262
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	△2	△0
前渡金の増減額 (△は増加)	△2,791	57
未収入金の増減額 (△は増加)	570	51
未払金の増減額 (△は減少)	△295	31
前受金の増減額 (△は減少)	3,325	△239
その他	△177	△355
小計	4,134	1,443
利息及び配当金の受取額	31	23
利息の支払額	△137	△122
法人税等の支払額	△1,227	△1,335
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,800	9
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△49	△24
定期預金の払戻による収入	62	57
有形固定資産の取得による支出	△338	△166
無形固定資産の取得による支出	△9	△60
投資有価証券の取得による支出	△15	△1,488
貸付けによる支出	△0	△9
貸付金の回収による収入	4	13
保険積立金の積立による支出	△7	△7
その他	4	102
投資活動によるキャッシュ・フロー	△349	△1,583

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△205	2,109
長期借入れによる収入	1,200	200
長期借入金の返済による支出	△1,031	△1,480
社債の償還による支出	△280	△200
株式の発行による収入	8	—
少数株主への株式の発行による収入	12	—
配当金の支払額	△313	△220
少数株主への配当金の支払額	△10	△24
その他	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△620	384
現金及び現金同等物に係る換算差額	17	△15
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,846	△1,204
現金及び現金同等物の期首残高	8,197	10,502
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,044	9,297

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

[セグメント情報]

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	軽金属・銅製品	電子・機能材	非鉄原料	建設・産業資材	
売上高					
外部顧客に対する売上高	34,508	58,237	12,650	5,030	110,426
セグメント間の内部売上高又は振替高	316	1,096	333	2,125	3,872
計	34,824	59,334	12,984	7,155	114,298
セグメント利益	577	2,803	63	58	3,502

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,502
セグメント間取引消去	△10
四半期連結損益計算書の経常利益	3,492

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	軽金属・銅製品	電子・機能材	非鉄原料	建設・産業資材	
売上高					
外部顧客に対する売上高	31,708	39,789	12,099	4,932	88,529
セグメント間の内部売上高又は振替高	254	1,740	320	1,064	3,379
計	31,962	41,529	12,419	5,996	91,909
セグメント利益	448	1,416	62	77	2,004

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,004
セグメント間取引消去	10
四半期連結損益計算書の経常利益	2,015

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。